

令和7年 8月28日

川崎市議会議長 原 典之 様

横浜市在住者

社会福祉法人らぽおるの樹の運営に関し、川崎市健康福祉局の監査及び指導体制の社会福祉法の運用の観点からの検証と抜本的な見直しに関する請願

請 願 の 要 旨

社会福祉法人らぽおるの樹の倫理的・財政的破綻の責任はどこにあるのか。監査指導権限のある健康福祉局の責任を明らかにするために、第三者委員会による検証を求める。

請 願 の 理 由

社会福祉法人らぽおるの樹に対して、川崎市健康福祉局総務部企画課がこれまで行ってきた指導・監査は、形式的かつ不十分なものであり、結果として法人の運営実態を是正するには至らなかった。

私はこれまで幾度となく、同局に対して意見や要望を発信してきたが、正面から取り上げられることはなく、私の指摘したとおり、法人の運営は崩壊の道をたどった。行政は、外形的な対応に終始し、当事者の声や実態に耳を傾けなかった。その姿勢が、法人の破綻を招いただけでなく、関係する職員や利用者、そして私自身をも含め、多くの者を不本意な状況へと追い込んだ。

さらに、行政による監査や指導においては、「誰が、どのような責任のもとに判断を下してきたのか」という責任の所在が一貫して不明確であり、説明責任も果たされていない。行政処分や改善命令が出された後においても、具体的な改善状況の検証や再発防止への実効性ある取組は見られず、市側には、自らの対応を検証し改善する意識が欠けていたことも明らかである。

また、法人内部で不正や不適切な運営に関する通報や指摘があったにもかかわらず

わらず、行政はそれを摘発・是正することなく黙認し、逆に通報者が不利益を受けるような構造が放置されたことは深刻である。私自身もその一人として、行政から実質的に無視され、排除されるような対応を受けてきた。このような状況は、行政による間接的な「報復的無視」とも受け取られかねず、公的機関として看過できない対応である。加えて、行政からの回答や説明は常に抽象的・形式的なものであり、具体的根拠や判断基準が示されることはなかった。市民や当事者にとって、そのような情報公開の在り方では納得も改善も望めず、行政不信を深める一因となっている。

以上のように、行政による監査・指導の在り方には構造的な問題が存在しており、今後の再発防止の観点からも、制度・体制の抜本的な見直しと、責任の所在を明確にした運用の確立、並びに当事者の声に真摯に向き合う行政姿勢の確立を強く求めたい。

紹介議員

宗 田 裕 之